

# キラリ★八代人

あの時の感動がよみがえる

「改めて写真を見ると、撮影した当時の思い出がよみがえります」と話すのは、6月に自費出版した写真集『よろこび』を市立図書館本館と市立博物館に寄贈した、写真家の森口昭十四さん。平成から令和にかけての八代地域の祭りや文化、市民の生活の様子などの写真305点が収録されており、さまざまな情景を感じることができる。



森口 昭十四さん（田中東町）



《水の聖地》白鳥山（泉町）

その写真を見た人がさらに感動してくれたら最高の喜びです」と話す森口さん。被写体を追い求めて、各地で撮影したことを振り返り、「おかげさまで80歳になった今でも、元気に被写体を追い求められていることが幸せです」と笑顔で話す。

「写真集を発行できたのも、妻を含め多くの人のおかげなので、タイトルを『よろこび』にしました」と写真仲間や各地で出会った人とのつながりに感謝する森口さん。

「これからも写真を撮り続け、いろんな人に見てもらえると、新たな刺激になって自分も成長できる」という言葉から、各地を飛び回り、感動する被写体にカメラを向ける森口さんのいきいきとした姿が浮かんだ。

## 発見★元気印の会社 No. 28

今月の元気印の会社は、八代市未来チャレンジ企業の「高原木材株式会社」です。



《会社概要》

会社名 高原木材株式会社  
 代表取締役社長 石松 勇志  
 所在地 八代市新港町 3-2-14  
 ☎ 0965-37-2800  
 HP <https://www.takahara-wood.com>  
 従業員数 75人  
 事業内容 土木用木材の製造、販売  
 地盤調査補強工事



### 社員の声

・一人一人が目標を持って、自分で考えて動くので、仕事にやりがいを持てます。

(業務部・男性・40代)

・木材を使用した地盤補強工事に携っています。責任ある仕事なので緊張感をもって仕事に取り組んでいます。

(営業部・男性・30代)



### 社長メッセージ

弊社は、創業より115年の間、地域の皆様に支えられてきたおかげで今日があります。これからも、八代の企業として、皆様のお役に立てるよう頑張っていきます。同時に現在では台湾で「ひのきの枕」を販売する等、アジアへの事業展開も積極的に進めています。従業員一同様々なことに挑戦していきます。

